

博士課程 DNP コース に関する会員校調査結果報告

一般社団法人日本看護系大学協議会

A.調査の概要

1. 調査目的

近年、博士課程に DNP コースを設置する大学が相次いでいる。CNS や NP など高度実践看護師等の増加を考えると、今後 DNP コース設置校が増加することが予想される。そこで、会員校の DNP に関する認識や設置意思、必要とする情報等を把握し、DNP コースに関する JANPU としての対応を検討する目的で会員校への調査を実施した。

2. 調査方法

調査対象校：JANPU 会員校全 307 校（JANPU 会員校の社員または看護学教育に一定の責任を有する立場の教員 1 名）

調査期間：2025 年 6 月 25 日（水）～2025 年 7 月 25 日（金）

調査方法：会員校への Google form による調査

回答数 266 校（重複校などの数調整含む）、回答率 86.6%

B.結果

回答校数

	国立・省庁立	公立	私立	合計
回答数（校）	42	49	175	266
回答率（%）	95.4%	92.4%	83.3%	86.6%
会員校数	44	53	210	307

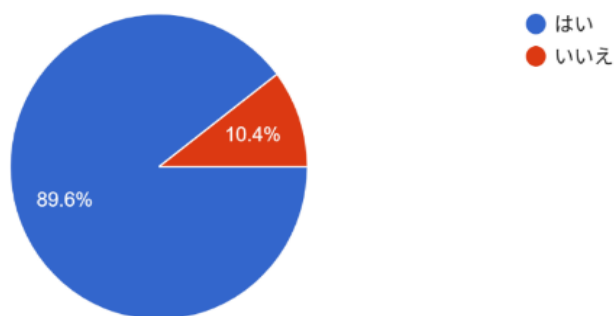
調査項目

1. 回答者の職位・身分 ※複数選択可のため回答数と回答校数の合計は一致しない （参考資料 2：質問項目 3 に該当）

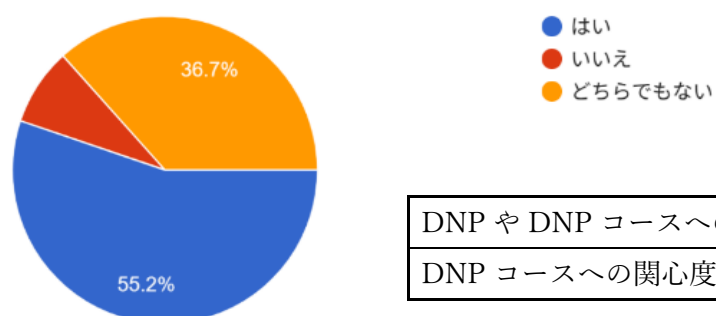
職位	学長	学部長	研究科長	学科長	専攻科長	教務委員長	その他※	合計
回答数	17	94	39	90	26	1	32	299
(%)	6%	31%	13%	30%	9%	0.3%	11%	100%

注）その他 32 件は、副学長 2 件（0.7%）、学科長代行、学科主任、学務課長などを含む各 1 件（0.4%）。

2. あなたは DNP や DNP コースについてご存じですか (参考資料 2：質問項目 4 に該当)

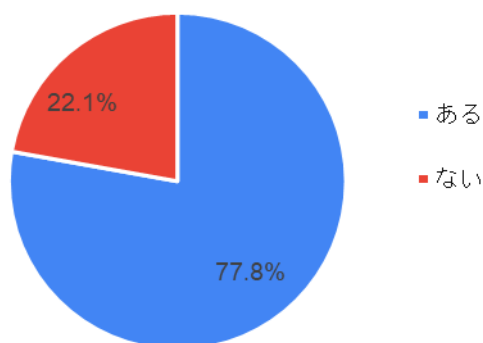


3. あなたは DNP コースについて関心がありますか (参考資料 2：質問項目 5 に該当)



DNP や DNP コースへの認知度	89.6%
DNP コースへの関心度	55.2%

4. あなたの大学は修士課程/博士前期課程がありますか (参考資料 2：質問項目 6 に該当)



ある	207
ない	59

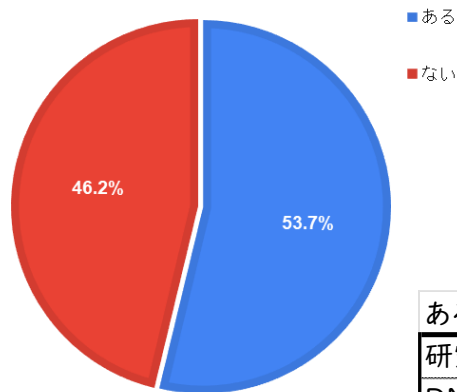
あると回答した方は設置されているコースを教えてください

研究者コース	67
上級実践コース (NP, CNS, 助産師, 保健師など)	7
研究者コースと上級実践コースの両方がある	125
その他	8

(その他)

- ・プロジェクト型のリーダーコースがある
- ・リサーチコース (研究者コース) とキャリア開発コース (実践者コース) がある
- ・研究・教育者および保健医療現場における専門的かつ指導的役割を果たし得る人材育成
- ・上記のようなコースではなく、看護職と管理栄養士が共に学ぶ
- ・特にコースを設けていません

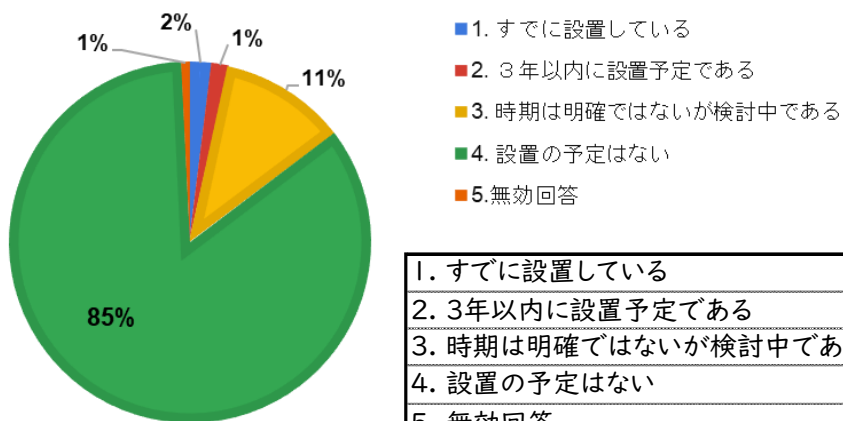
5. あなたの大学は博士課程/博士後期課程がありますか (参考資料2: 質問項目7に該当)



ある	143
ない	123

あると回答した方は設置されているコースを教えてください	
研究者コース	138
DNPコース	1
研究者コースとDNPコースの両方がある	4

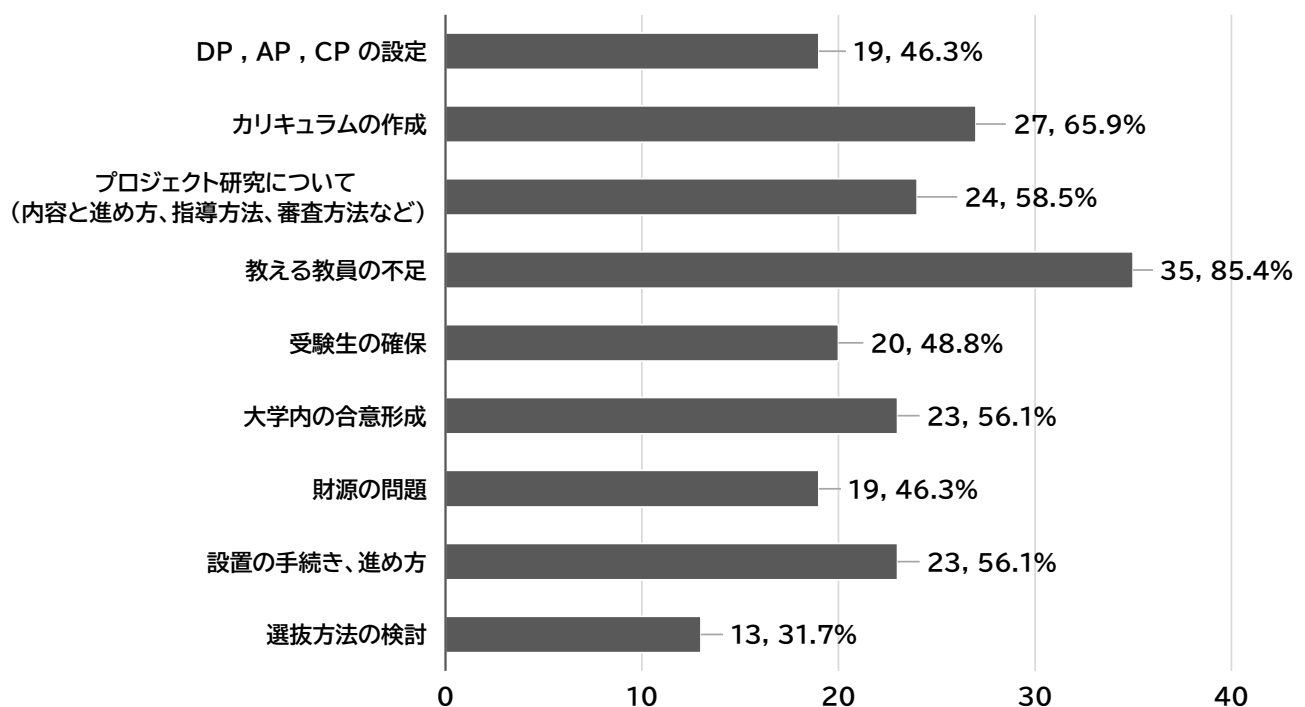
6. あなたの大学はDNPコース設置を予定していますか (参考資料2: 質問項目8に該当)



1. すでに設置している	5
2. 3年以内に設置予定である	4
3. 時期は明確ではないが検討中である	30
4. 設置の予定はない	225
5. 無効回答	2

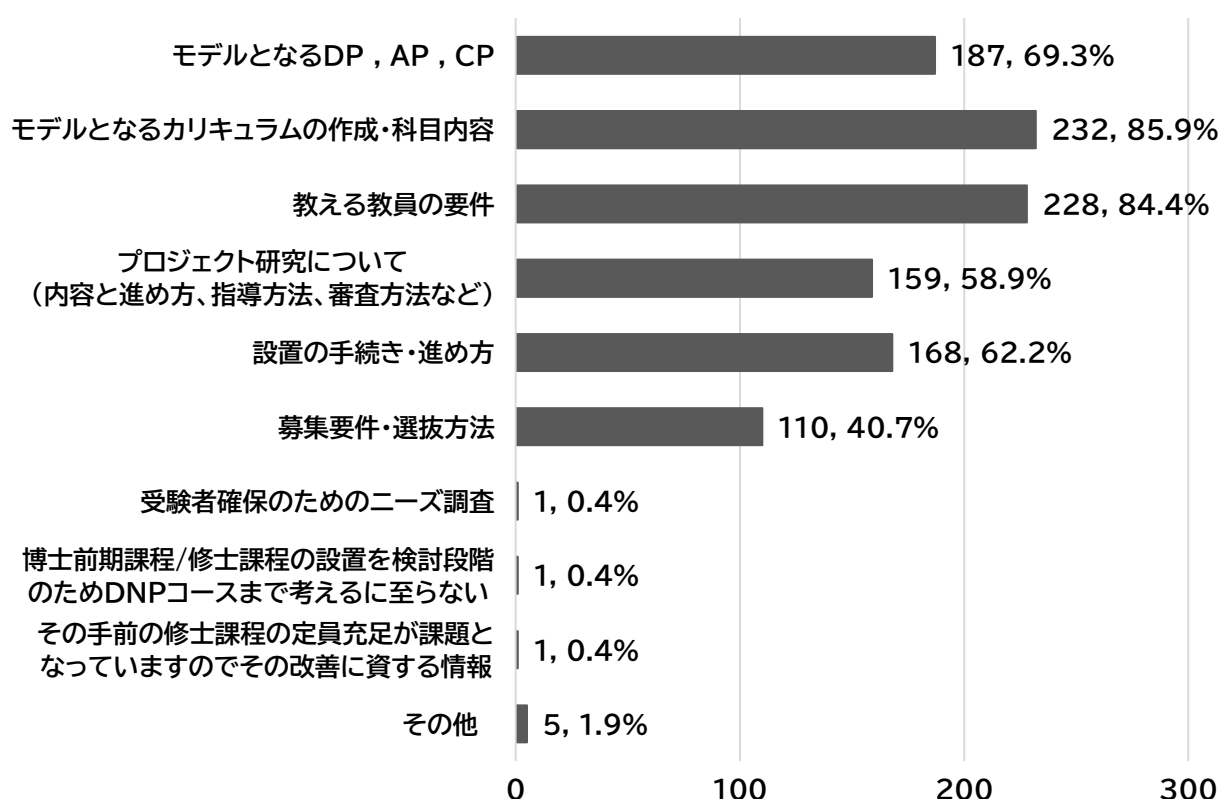
1～3を回答された方

DNPコース設置にあたり課題となること(なったこと)は何ですか(複数回答)



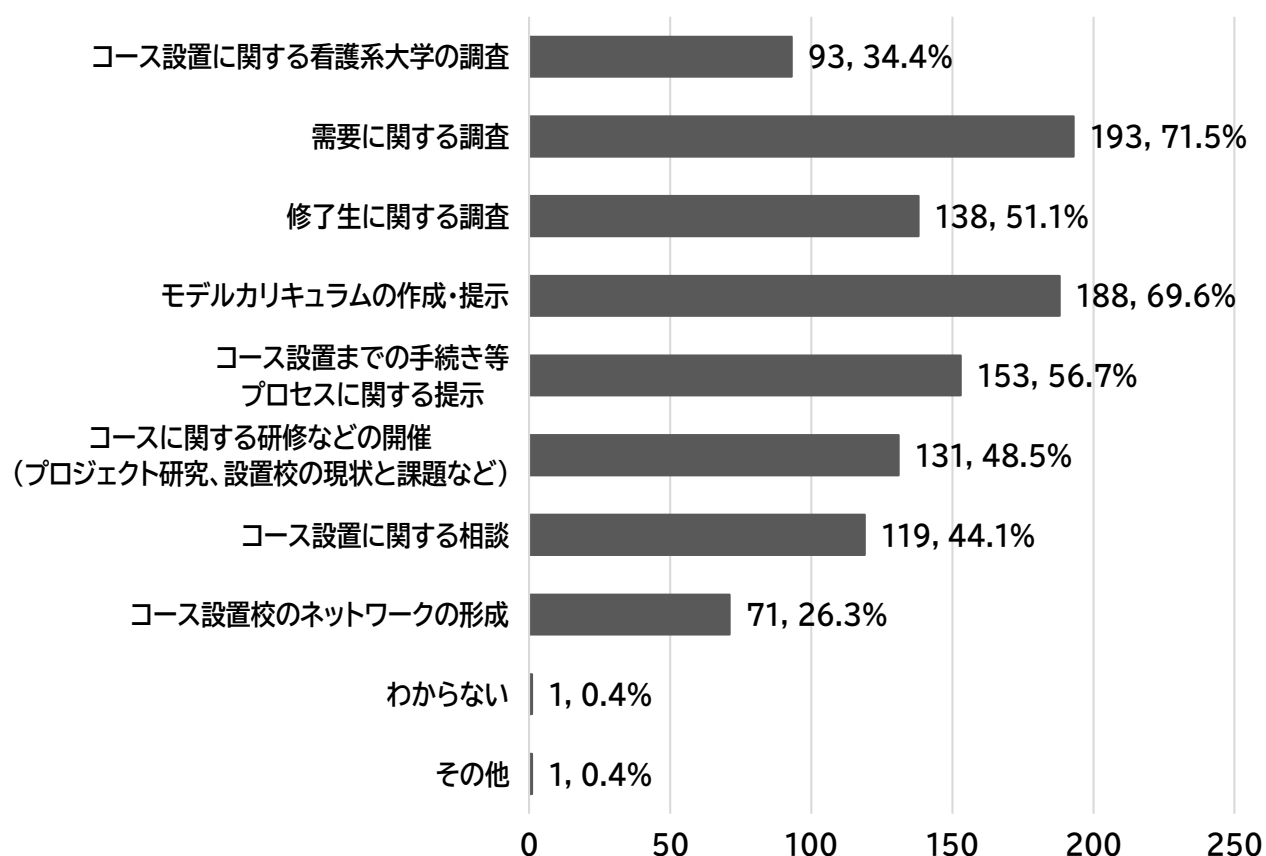
7. 貴学が DNP コースを設置した際またはこれから設置する場合、必要な情報は何か

(複数回答) (参考資料 2: 質問項目 9 に該当)



8. DNP コースについて、日本看護系大学協議会 (JANPU) に期待することは何か

(複数回答) (参考資料 2: 質問項目 10 に該当)



9. DNP コースに関するご意見などをご自由にお書きください (43 件)

(参考資料 2：質問項目 11 に該当)

【JANPU に求めるもの】

DNP コースのカリキュラムや運営

- ・モデルとなるカリキュラム、運営などが JANPU である取り組みやすいのかな、と思いました。
- ・博士の入学定員が 3 名であり、実際に設置するとなると博士課程のカリキュラムが煩雑になる。全貌の研修が必要である
- ・CNS のアドバンスというより、看護管理に関する学修に偏重している印象があります。このため、モデルコアカリキュラム作成には違和感があります。参考とできるモデルカリキュラムということであれば、大変助かると思います。
- ・コース設置に関しては、各大学の学則に基づいているので、モデルカリキュラムの作成は慎重に対応いただきたい。

DNP コース設置に向けた研修会などの提供

- ・本学大学院では高度実践（CNS や NP）コースを修了した学生たちが、昨今、博士後期課程の進学を希望するようになっていきます。しかしながら、本学の博士後期課程では研究コースしか設置していないため、英語力をはじめ進学が難しい状況があります。このため、DNP コースをぜひ設置したいと考えております。DNP コース設置に向けた研修会やプロセスなどをご提供いただけますと幸甚に存じます。
- ・病院をもたない大学にとっては DNP コースの設置のハードルは高い。これに対する対策などがあればご助言いただきたい。

DNP コースに関する情報提供

- ・大学としての設置予定はありませんが、もし可能性があるなら設置を進めてもよいと思います。今は、ほとんど知識がないので、様々な情報を得たいと思います。
- ・大学の将来構想を考えるにあたり、有用な情報の提供と考えます。今後も新たな情報の提供をよろしくお願いいたします。
- ・完成年度前の段階です。高度実践看護師は修士課程養成、DNP は博士課程養成のイメージです。

修了生に関する情報提供

- ・DNP の学位を持った修了生が就職する病院のニーズなどについても調査して欲しい。
- ・DNP コース修了後に活躍している人の情報を交換できる機会があるとよい。
- ・全国の DNP 修了生の活動状況について知りたい。
- ・DNP コースの設置を検討したこともありましたが、他校の修了生の動向などをみている段階です。

DNP コース設置校の現状と課題に関する情報提供

- ・DNP 設置校からの情報発信をしていただく機会があると嬉しく思います。情報は頂いて参考にして参りたいと考えております。
- ・今後も各大学の設置状況等の情報提供をよろしくお願いいたします。

- ・牽引していただける大学があることに期待しております
- ・日本看護系大学協議会として、DNP コースの設置を推奨するのであれば、是非検討したいと思うので、何が今後の課題となるのか、設置校の現状と課題を是非共有して頂きたいです。

DNP・DNP コースの PR、認知の向上

- ・はじめて、大学院が設置されていない大学に着任しました。前任校では要検討事項でした。DNP 養成の必要性ならびに展望をもっと PR していただけると、DNP 構想を本部に提案した際にも大きなバックアップになると思いました。
- ・開設間もないのであれば、DNP コース設置の意義を広く伝えていく必要がある。

【DNP コース設置における課題】

大学内で理解が得られない

- ・現在のところ所属する大学においては、教員不足、財源不足、大学内組織における認識不足（理解が得られない）などがあり、コース設置を考えていない。しかし、今後の医療界において重要な役割を担うと思う。
- ・米国の様子を見ても DNP に一定の魅力があることは理解できる。聖路加や日赤など、伝統ある私立の看護系大学であれば先鞭をつけやすいのではないと思うが、本学のように研究成果を重視する国立大学では、DNP コースの開設に向けた担当教員の確保や開設後の DNP 教育の質保証の点で、コースの開設や維持が難しいのではないと思う。要は、国立大学が求める教員人材と DNP 教育にふさわしい人材には、埋められないギャップがあるように感じている。
- ・本大学では、設置の予定はないが、アメリカの DNP については興味があり勉強もした。学長はじめ関係者に賛同が得られず断念している。そろそろの必要性はあると思っている。

担当できる教員の確保

- ・今後、DNP コースへニーズと期待が増していくと思います。それに伴い、DNP コースの教育の質保証に対する教員の能力が問われることになると思います。そのため、まずは担当できる（指導できる）教員の確保が大きな課題と考えております。
- ・診療看護師についても、法的整備が行われないうまま社会的ニーズが高まり、ようやく統一したカリキュラムの検討が行われている現状ですが、葛藤を抱えたまま大学院での NP 養成に取り組んでいます。その先の DNP に関しては、まだそのニーズや位置づけ等、理解が追いついていないのが正直な意見です。また、学部・修士課程の教員確保にも苦労している状況があるので、博士課程の立ち上げには教員の課題が大きいです。
- ・CNS コースは以前ありましたが、入学生の減少と教員不足で閉鎖しました。再度、立ち上げようと考えておりますが、教員はピーク時の半分で（これで固定）、日本人学生を得ることが難しい状況にあります。大きな課題です。
- ・学部や修士課程の教員確保にも苦労している状況があるので、博士課程の立ち上げには教員の課題が大きいです。
- ・DNP の設置を検討するにしても、その前提となる博士後期課程の設置自体が、財政面や教員体制などの課題により困難な状況にあります。

- ・DNP コースの設置は高度な実践力と研究能力を併せもつ人材の育成がとても必要だと感じております。一方、そのような人材育成をする教員の質や教員確保にあたっては、難しい現状があるのではないかと感じております。
- ・DNP コースを担当できる力量の教員が現時点ではないため、設置は難しいと考えております。また、地方の大学では、大学院の定員を埋めることも大変な状況であることや、大学予算の特に人件費が削られる中、定年退官した教員の後任は1年間不補充とするといった状況であり、新たなコースを作ることは、教員の確保の現状から、現実不可能な状況です。
- ・教員数の削減もあり、DNP コースに魅力も感じるが、育成できる教員や人数を揃えられないように感じている。大学は研究業績を求めており、臨床が求めている力と大学評価として文科省が求めている指標が異なるので難しい。文科省に教員人数の基準を増やすように折衝してほしい。
- ・現在のところ所属する大学においては、教員不足、財源不足、大学内組織における認識不足（理解が得られない）などがあり、コース設置を考えていない。しかし、今後の医療界において重要な役割を担うと思う。
- ・新設の大学院では博士後期課程の教育・研究を担当できる教員の確保・資質が大きな課題となっていると思います。

財政の問題

- ・DNP の設置を検討するにしても、その前提となる博士後期課程の設置自体が、財政面や教員体制などの課題により困難な状況にあります。
- ・現在のところ所属する大学においては、教員不足、財源不足、大学内組織における認識不足（理解が得られない）などがあり、コース設置を考えていない。しかし、今後の医療界において重要な役割を担うと思う。

現状に手一杯である

- ・今後の地域の実情を考えれば、DNP コースは必要なコースと思いながらも、本学の CNS と修士論文コース、博士課程後期（研究）、専攻科の運営で手一杯な感じです。新しい事を一から始めるエネルギーがどの教員も枯渇している感じです。

【DNP コースについて検討が必要な事項】

DNP と CNS、NP の位置づけ・資格取得との関係

- ・保健医療福祉分野における課題が多様化・複雑化する昨今、臨床リーダー(高度実践看護師:DNP)の養成は意義深いことと捉えている。また、Ph.D(研究コース)がある大学院の研究科に DNP コースを併設することで、往還型な教育プログラムの構想も可能となり、より質の高い人材育成にもつながると考えている。しかし、日本の NP(特定看護師)制度を概観すると、米国とは異なり、国家資格でもなく診断や処方、独立開業もできず、認定者数も当初厚労省が推定していた 1/10 程度に留まっている。また、非常に高度で重要な仕事を担っているにもかかわらず、社会からの認知度もまだ低い状態である。よって、NP の制度設計について、医師法・保助看法など法的観点からの見直しはもとより、DNP も含め、法的な位置づけを明確にし、業務内容の社会的認知につなげることで、NP から DNP へというキャリアパスを選択する看護職の増加にもつながると考察している。

DNP と上級実践資格 (NP) との関連について

- ・海外では NP の教育課程を DNP コースで履修するなどあるが、NP を博士前期で履修できるようにすべきなのか、DNP コースで履修すべきなのか？
- ・すでに博士前期で CNS コースを履修して、CNS の資格を有している場合、DNP で NP の科目を履修する場合にどのように紐づけることができるのか？例えば、仕組みを整えば、CNS を博士前期で、NP を DNP でというような NP に特化した科目だけ履修できるようにすることなどは今後検討しているのか？

CNS、NP についての課題検討が必要

- ・DNP コース設置に際して多くのクリアしなければならない条件があると思います。現状で設置されている教育機関は医学部がある、病院が併設されている、などの好条件がそろっています。どの大学でも設置できるものではないと思うので、設置が可能な人材、設備等の環境が整っている大学が率先して人材育成をしていただきたいと思います。
- ・現在専門看護師の資格を有する看護師が実践の場で活躍されているわけではなく、教育機関に働く人も多いという現状です。高度実践看護師を育成するのであれば、やはり本来の目的である実践の場で高度な知識・技術をもちながら看護の質の向上のために貢献してほしいと思います。結果的に、資格を持つ人の多くが教育機関で働くことになったら本末転倒のような気がします。また臨床の場で、あるいは地域など、DNP の能力をどう活用していくのかが大きな課題だと思います。専門看護師であっても施設に複数配置されているような病院でも、その人の資格、持てる能力を十分に活用できているのかを疑問に思うことがあります。
- ・専門看護師が誕生して 25 年以上経過します。その方たちが本当に実践の場で力を発揮できているのか、そのあたりも精査しながら DNP コースの設置を進めてほしいと感じます。
- ・診療看護師についても、法的整備が行われないうまま社会的ニーズが高まり、ようやく統一したカリキュラムの検討が行われている現状ですが、葛藤を抱えたまま大学院での NP 養成に取り組んでいます。その先の DNP に関しては、まだそのニーズや位置づけ等、理解が追いついていないのが正直な意見です。

DNP の高度実践能力の明確化

- ・DNP における高度実践能力の位置づけ
- ・DNP を修了した場合と修了していない場合の CNS や NP の違い
- ・DNP を修了した場合と博士後期を修了した場合の CNS や NP の違い
- ・DNP における高度な実践能力とは何か？
- ・博士前期と DNP における高度な実践能力の違いは何か？
- ・看護管理者サードレベルと DNP における高度実践能力の違いは何か？
- ・実践的な課題解決に重点を置いた博士号をもつ看護師は、多職種連携やチーム医療の展開のほか、政策への提言などにおいても効果的な活動につながることを期待できます。

DNP コースの目的の明確化

- ・根拠に基づく看護 (EBN) 活動の「確立」は、DNP コースを修了したリーダーの活動として期待で

きます。経験や直感に基づく実践（art）は、関連する学問分野（science）を接近させて科学的根拠に基づく実践（EBN）となります。また、実践活動の貴重な結果は Science 領域での興味関心をもたらします。こうした Science と Art との互いのやりとりを常に繰り返して、真に根拠に基づく看護（EBN）として確立されてゆきます。これらの過程は、大学院教育を基盤とした DNP コースの教育理念にもつながると思います。

- ・少子高齢・人口減少社会でのケア継続に向けて、ケアに関わる複雑な問題の根拠をアセスメントし、必要な学問分野、市民、行政、企業等と連携・協働してゆくリーダーが求められています（ケアサイエンス）。このようなリーダーの養成として DNP コースの設置が、社会におけるケア継続の観点からも必要になると考えられます。
- ・「DNP コースは、修士課程を修了している実践家が実践的な研究を行い博士号を取得するコースであり、診療看護師（NP）である必要はない。」このことは、附属病院など医療機関との強い組織的なつながりがなくても DNP コースの教育課程の設置が可能であると期待できます。
- ・課題が山積しているなか現場でリーダーシップを発揮し、看護職の貴重な人材をマネジメントできる力を修了後も学生自身が発展させていけるようなコースにしたいです。
- ・日本における DNP コースの定義、修了者に期待されるものは何かを明確にし、CP、DP に基づく教育の質保証を伴う DNP コースの拡大が必要であると考えます。JANPU の役割は大きいと思います。

DNP コースの特色

- ・DNP コースを設置する大学の環境要件もあるかと思います。大学院の打ち出す特色に応じて検討できれば良いと考えます。
- ・他大学の DNP コースとの単位互換。
- ・DNP コースを医療機関との強い組織的なつながりがない教育機関で設置する場合には、プロジェクト研究などを含めて他大学の DNP コースとの単位互換性があると、より充実した課程に発展できると思います。

DNP を取得することのメリットの明確化

- ・CNS の活躍について、一部の CNS については、診療報酬につながっていますが、CNS を持っても実践での扱いが他の看護師と何ら変わらないという話も伺います。DNP を取ることで、実際にどのような利点があるのか、もしくは、そこに繋げるかが、目指す人のモチベーションには必要だと思います。

DNP の雑誌や研究会の設置

- ・DNP に関する雑誌や研究会を作ってほしい（例：看護科学学会学術集会や学術雑誌に DNP のセクションがあると、DNP コースの学生、修了生にとって励みになると思う）。

【その他】

DNP コース設置校や世の中の動きを見て決めたい

- ・本学はまだ DNP コースに関する動きはまったくありませんが、まずは世の中の動きを把握して、

検討する必要性の有無から考えていきたいと思います。

- ・ 本学は修士課程についてもまだこれからです。先輩大学の動向を参考にさせていただきながら将来構想に入れていければよいかと思っています。
- ・ これまでは、DNP コースについては医学部と併設されている看護学部が設置するくらいと考えていました。しかし、今後増加することが予測されとの情報を得ると、修士課程も設置されていない本大学の行く末を意識せざるを得ないと感じました。いい刺激ではあると思います。今後の動向を伺いながら、本大学の方向性を考えていきたいと思います。

その他

- ・ 米国のモデルをそのまま日本に持ってきてもうまくはいかないと思います。人間の対象理解を十分行うことなく、DNP の数だけを増やしても看護の本質からは遠のくのではないかと気危惧しています。
- ・ DNP コースに限らず大学院のレベルの維持向上が課題になると感じている。

一般社団法人日本看護系大学協議会 会員校
社員（代表者）各位

一般社団法人日本看護系大学協議会
高等教育行政対策委員会委員長 麻原きよみ



DNP（Doctor of Nursing Practice）コースに関する調査（5 分程度）ご協力のお願い

平素より日本看護系大学協議会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

米国における DNP は実践の最高学位（博士）と位置付けられ、DNP のプログラムは患者のアウトカムの改善と組織の変革、エビデンスを実践に実装する高度実践の看護リーダーを育成するものです。米国においては、2004 年～2023 年（19 年間）で約 73,000 人が DNP を取得し、433 のプログラムがあり、さらに 87 の新しい DNP プログラムが計画段階とされています（AACN, American Association of Colleges of Nursing）。

わが国で看護学分野の博士課程/博士後期課程を設置しているのは 137 課程、そのほとんどが研究者コースとなっています。日本の DNP コースは、米国の DNP コースの修了年限や資格取得有無などとは制度上の違いがあるものの、近年、DNP コースを設置する大学が相次いでいます。2017 年度には聖路加国際大学、2023 年度には北里大学、2024 年度には国際医療福祉大学、2025 年度には亀田医療大学、愛知医科大学が設置しています。国内においても DNP コースにおいて、高度な実践力と研究能力を併せ持った看護管理者を含む高度実践者への期待、博士号を持った高度実践の変革者を養成することへのニーズが高まっています。実際に、米国や日本でも DNP 修了生の多くは実践で働いています（AACN, DNP シンポジウム 2023 資料）。わが国の高度実践看護師である専門看護師・NP（診療看護師, JANPU-NP）の直近の合計数は約 4,500 名であることを考えると、今後 DNP コース設置校が増えていくことが予想されます。

しかし一方で、そもそも DNP が何かわからない、開講したいが具体的なカリキュラムや設置方法を知りたいなど、会員校においても DNP に関する認識はまちまちだと推測されます。

そこで、会員校の DNP に関する認識や設置意思、必要とする情報等を把握し、JANPU として、日本における DNP の標準的な教育体制や具体的なカリキュラム等の検討を始めたいと考えております。

尚、JANPU 会員コードを入力していただきますが、調査結果報告書の公表にあたっては、回答校が特定されないことをお約束いたします。

本調査の回答作業は 5 分程度 で終わります。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

■回答方法：下記 URL の Google フォームよりご回答をお願いいたします。

<https://forms.gle/u4RFHXbRxKYgtUS7>

■調査対象/回答者：JANPU 会員校の 社員または看護学教育に一定の責任を有する立場の教員 1 名

■回答期限：2025 年 7 月 25 日（金）

■調査票の質問項目一覧：調査票の質問項目は次のとおりです。ご参照ください。

<https://www.janpu.or.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/DNPsurvey.pdf>

<お問い合わせ先> ※可能な限りメールでご連絡ください。

一般社団法人日本看護系大学協議会 事務局

E-mail: survey@janpu.or.jp

DNP に関する会員校調査

会員校の DNP に関する認識や設置意思、必要とする情報等を把握するための調査を行います。
5 分程度で終わりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

(調査の目的については公文書をご覧ください)

<https://www.janpu.or.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/DNP-No.31.pdf>

■回答方法：下記 URL の Google フォームよりご回答をお願いいたします。

<https://forms.gle/u4RFHXbRxKYgtUS7>

■調査対象/回答者：JANPU 会員校の社員または看護学教育に一定の責任を有する立場の教員 1 名

■回答期限：2025 年 7 月 25 日（金）

■調査票の質問項目一覧：調査票の質問項目は次のとおりです。ご参照ください。

■* の項目は必須の質問です。

1. JANPU 会員コード（半角数字 4 桁）*

※会員コードが不明な場合には下記 URL からご確認ください

<https://www.janpu.or.jp/file/code2025.pdf>

2. 大学名 *

()

メールアドレス：()

3. 職位・身分 *

※複数回答

☐ 学長

☐ 学部長

☐ 研究科長

☐ 学科長

☐ 専攻科長

☐ 教務委員長

☐ その他 ()

4. あなたは「ご協力のお願い」に示した DNP や DNP コースについてご存じでしたか *

☐ はい

☐ いいえ

5. あなたは DNP コースに関心がありますか *

- ☐ はい
- ☐ いいえ
- ☐ どちらでもない

6. あなたの大学は修士課程/博士前期課程がありますか *

※「ある」と回答された方は、次の設問についてもお答えください

- ☐ ある
- ☐ ない

⇒6 で「ある」と回答された方 設置されているコースを教えてください

- ☐ 研究者コース
- ☐ 上級実践コース (NP, CNS, 助産師, 保健師など)
- ☐ 研究者コースと上級実践コースの両方がある
- ☐ その他 ()

7. あなたの大学は博士課程/博士後期課程がありますか。 *

※「ある」と回答された方は、次の設問についてもお答えください

- ☐ ある
- ☐ ない

⇒7 で「ある」と回答された方 設置されているコースを教えてください

- ☐ 研究者コース
- ☐ DNP コース
- ☐ 研究者コースと DNP コースの両方がある
- ☐ その他 ()

8. あなたの大学は DNP コース設置を予定していますか *

※1～3 の回答をされた方は次の設問についてもお答えください

- ☐ 1. すでに設置している
- ☐ 2. 3 年以内に設置予定である
- ☐ 3. 時期は明確でないが検討中である
- ☐ 4. 設置の予定はない

⇒8 で 1～3 を回答された方

DNP コース設置にあたり課題となること (なったこと) は何ですか

※複数回答

- ☐ DP, AP, CP の設定
- ☐ カリキュラムの作成
- ☐ 教える教員の不足
- ☐ プロジェクト研究について (内容と進め方、指導方法、審査方法など)

- ☐受験生の確保
- ☐大学内の合意形成
- ☐財源の問題
- ☐設置の手続き・進め方
- ☐選抜方法の検討
- ☐その他 ()

9. 貴学が DNP コースを設置した際またはこれから設置する場合、必要な情報は何か *

※複数回答

- ☐モデルとなる DP, AP, CP
- ☐モデルとなるカリキュラムの作成・科目内容
- ☐教える教員の要件
- ☐プロジェクト研究について（内容と進め方、指導方法、審査方法など）
- ☐設置の手続き・進め方
- ☐募集要件・選抜方法
- ☐その他 ()

10. DNP コースについて、日本看護系大学協議会（JANPU）に期待することは何ですか *

※複数回答

- ☐コース設置に関する看護系大学の調査
- ☐需要に関する調査
- ☐修了生に関する調査
- ☐モデルカリキュラムの作成・提示
- ☐コース設置までの手続等プロセスに関する提示
- ☐コースに関する研修等の開催（プロジェクト研究、設置校の現状と課題など）
- ☐コース設置に関する相談
- ☐コース設置校のネットワークの形成
- ☐その他 ()

11. DNP コースに関するご意見などをご自由にお書きください

<https://doi.org/10.32283/rep.ca996913>